

メッセージ 2

キリストは解放する方であり、
またわたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方である

聖書全体は、一つの宝石をちりばめた指輪のようなものです。

ローマ書は、その指輪にある一粒の宝石のようなものです。

ローマ書 8 章は、その宝石が放つ光り(輝き)のようなものです。

ローマ書 8 章の主題は、「命の霊の法則」です。

ローマ第 8 章が最も重要である理由に関する五つの主要な点

- ① 聖書全体の焦点(中心点)であり、また宇宙の中心である-I テモテ 1:3-5、ゼカリヤ 12:1
- ② 死にも狂いになって追い求めている者たちのための章である-ローマ 7:24-25 前半, 8:2
- ③ クリスマンであることの鍵(かぎ)-ローマ 8:2-4
- ④ 勝利者であることの鍵(かぎ)-イザヤ 40:31
- ⑤ からだの生活をする事、キリストのからだの中で生きる事の秘訣-ローマ 12 章は 8 章の継続である

題目と主要な御言葉

キリストは解放する方であり 8:1-27	ローマ 7:24 何とわたしは苦悩している者でしょう！ <u>だれが</u> この死の体から、 <u>わたしを救い出してくれるのでしょうか？</u> ローマ 8:2 なぜなら、 <u>命の霊の法則が</u> 、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、 <u>わたしを解放したからです。</u>
わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方である 8:31-39	ローマ 8:37 しかし、これらすべての事柄において、わたしたちを <u>愛して</u> くださった方を通して、 <u>わたしたちは勝ち得て余りがあります。</u>

I	わたしたちを解放する方としてのキリスト (命の霊の法則によって)	A	命の霊の法則のその 重要性
		B-D	命の霊の法則のその 定義
		E	命の霊の法則のその 経験
		F	命の霊の法則のその、 働き、機能
		G	命の霊の法則に 協力する (わたしたちの協力)
II	わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方として (わたしたちを愛してくださった方を通して)	A-D	<u>わたしたちを愛してくださったキリスト</u> を通して
		E-F	わたしたちは、 <u>すべての事において、勝ち得て余りがあります</u>

キリストは解放する方であり、またわたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方である

日	段落	思想	主題	要点
1	わたしたちを解放する方としてのキリスト	定義 経験 働き	命の霊の法則の定義と経験	命の霊の法則の定義
2				主との接触を保ち、命の霊の法則を経験する
3	命の霊の法則	協力	命の霊の法則の活動、働き	命の霊の法則はわたしたちを神で構成する
4				命の霊の法則はわたしたちをキリストのからだの肢体へと構成する
5	わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方	わたしたちを愛してくださった方を通して	スイッチを入れることと命の霊の法則に協力する道(方法)	「…わたしを解放した」のわたしは、スイッチを入れている「わたし」である
6				霊、魂、体の三部分をみな霊にしたがわせる
				神の子たちと命の霊の法則の協力
				完全な子たる身分のためにとりなす霊の中でうめく
		わたしたちを愛してくださった方を通して	わたしたちを愛してくださったキリストを通して勝ち得て余りがあります	わたしたちは神を愛し、そしてキリストの愛に押し迫られています
		わたしたちを愛してくださった方を通して	わたしたちを愛してくださったキリストを通して	わたしたちを愛してくださったキリストを通して
		何ものも引き離すことはできない	すべての事において、わたしたちは勝ち得て余りがあります	どのような苦難もわたしたちをキリストの愛から引き離すことはできない
		勝ち得て余りがある	勝ち得て余りがあります	あらゆる患難において、わたしたちは勝ち得て余りがあります

結びの言葉

解放する方と勝ち得て余りがあるようにする方

解放する	科学的に、主との接触を常に保持する
	協力して、命の霊の法則を活動させる
勝ち得て余りがある	神を愛し、あらゆる患難を益とならせる
	勝ち得て、神の愛から引き離されることはない

メッセージ 2

キリストは解放する方であり、
またわたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方である
聖書:ローマ 8:2, 31-39

キリストを、わたしたちを解放する方として経験し享受する

I. わたしたちは命の霊の法則によって、キリストを、わたしたちを解放する方として経験し、享受し、表現することができます——ローマ 8:2:

*命の霊の法則のその重要性

A. ローマ第 8 章の命の霊の法則を享受することは、わたしたちをローマ第 12 章のキリストのからだの実際の中へともたします。わたしたちがからだの中で、またからだのために生きるとき、この法則はわたしたちの内側で活動します——ローマ 8:2, 28-29. 12:1-2, 11. ピリピ 1:19。

*B-D 命の霊の法則のその定義

命: すべての命には法則があります。神の命は最高の命であり、この命の法則は最高の法則です
霊: 三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天の手順を経過して、命の霊の法則となりわたしたちの霊の中に設置されました
法則: 「科学的な」法則、自動的な原則、これは神のエコノミーにおける最大の発見、さらには回復の一つです

B. すべての命には法則があり、命は法則でさえあります。神の命は最高の命であり、この命の法則は最高の法則です——参照, ヨハネ 1:4-5. 12:24. 14:6 前半. 10:10 後半. I コリント 15:45 後半。
C. 三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天の手順を経過して、命の霊の法則となり、「科学的な」法則、自動的な原則として、わたしたちの霊の中に設置されました。これは神のエコノミーにおける最大の発見、さらには回復の一つです——ローマ 8:2-3, 11, 34, 16。
D. 命の霊の法則は、神聖な命の自然な力です。それは神聖な命の自然な特性、固有の、自動的な機能です——ローマ 8:2. ピリピ 2:13. エゼキエル 36:26-27. 箴 30:18-19. イザヤ 40:28-31. ヘブル 12:2 前半. ピリピ 4:13. コロサイ 1:28-29。

*命の霊の法則のその経験

主に触れ、主と接触し続け/自分の奮闘と努力をやめ/祈りによって、また依存する霊を持ち/霊の中の命の感覚を顧慮する必要があります/そうして神聖な命の流れの中にとどまり、命の霊の法則を活動させる必要があります

E. わたしたちが主に触れ、彼と接触し続けているとき、命の霊の法則は自動的に、自然に、努力することなく働きます:

1. わたしたちは自分の奮闘と努力をやめる必要があります——ガラテヤ 2:20 前半. ローマ 7:15-20 :
 - a. 罪が法則であること、またわたしたちの意志が決してこの法則に打ち勝つことができないことを見たことがないなら、わたしたちはローマ第 7 章に閉じ込められます。わたしたちは決してローマ第 8 章に到達しないでしょう。
 - b. パウロは何度も志を立てましたが、その結果はただ失敗の繰り返しでした。人が行ない得る最上のことは、決意することです——7:18。

- c. 罪はわたしたちの内側で潜伏しているとき、単に罪ですが、わたしたちが善を行なおうとすることによってわたしたちの中で起き上がるとき、「悪」となります。「そこでわたしは、善を行なおうと欲しているわたしに、悪が共にあるという法則を見いだします」——21節。
 - d. わたしたちは志を立てるのではなく、思いを霊に付け、霊にしたがって歩くべきです——8:6, 4. ピリピ 2:13。
2. わたしたちは祈りによって、また依存する霊を持つことによって、内住する、設置された、自動的な、内で活動する神と協力し、こうして命の主また働きの主との交わりを維持する必要があります——Iテサロニケ 5:17. エペソ 6:17-18。
 3. わたしたちは霊の中の命の感覚を顧慮し、命の交わり、すなわち神聖な命の流れの中にとどまり、命の霊の法則を活動させる必要があります——ローマ 8:6, 16. Iヨハネ 1:2-3, 6-7。

*** 命の霊の法則のその働き、機能**

— 命の霊の法則はわたしたちを神で構成し、キリストのからだの肢体へと構成、機能をもたせます

F. キリストのからだの中でのわたしたちの生活と奉仕のすべてのかぎは、わたしたちの内側で活動する命の霊の法則です:

1. 命の霊の法則は、神格においてではなく、命、性質、表現においてわたしたちを神とし、神の長子のかたちへと形成して、ご自身の団体の表現とならせます——ローマ 8:2, 29。
2. 命の霊の法則は、わたしたちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を持たせます——エペソ 4:11-12, 16。

(朝ごとの食物2日目の内容より)

その命によれば、新しい契約の法則は三一の神であり、その機能によれば、それは神聖な能力です。命の霊の法則は、わたしたちを命と性質において(神格においてではなく)神とならせます。わたしたちを神の長子のかたちへと同形化し、彼の団体的な表現とならせます。これは内なる命の法則の能力(機能)の最高の面です。

*** わたしたちはスイッチを入れることで命の霊の法則の協力する**

G. わたしたちは、命の霊の法則として内側で活動する三一の神と協力することができます。それは、以下の方法でこの法則に「スイッチを入れる」ことによってです:

*** 霊、魂(思い)、体の三部分をみな霊にしたがわせる**

*** 霊にしたがって歩く**

1. わたしたちは霊にしたがって歩く、すなわち霊の中で生きる必要があります——ローマ 8:4. 参照、詩 23:3 :
 - a. キリストを経験する秘訣は、わたしたちを力づけていっさいの事柄を行なわせる方の中にあることであり、彼の中にいる秘訣は、わたしたちの霊の中にいることです——ピリピ 4:12-13, 23。
 - b. キリストの中で生きる実行は、わたしたちの霊の中で生きることです。ローマ人への手紙で使徒パウロが強調しているのは、わたしたちが何であっても (2:29. 8:5-6, 9) 、何を持っていても (8:10, 16) 、神に対して何を行なっても (1:9. 7:6. 8:4, 13. 12:11) 、わたしたちの霊の中にいなければならないということです :

- (1) わたしたちは霊の中で生きるために、時間を費やして主を見つめ、祈ってイエスと交わり、彼の御顔の中に浸り、彼の麗しきで浸透され、彼のすばらしさを輝かし出す必要があります——Ⅱコリント 3:16, 18. 詩 27:4. 参照、マタイ 6:6. 14:23. 出 33:11 前半. 34:4, フットノート 2。
- (2) わたしたちは霊の中で生きるために、絶えず祈る必要があります——Ⅰテサロニケ 5:17. 参照、ヨハネ 20:22. 哀 3:55-56. ローマ 10:12-13。
- (3) わたしたちは霊の中で生きるために、神聖な命の交わりの中にとどまり、神聖な光の中を歩く必要があります——Ⅰヨハネ 1:2-3, 6-7。

***思いを霊に付ける**

2. わたしたちはその霊の事柄を思うことができます。これは**思いを霊に付ける**ことです——ローマ 8:5-6 :
 - a. わたしたちは**霊に注意し、わたしたちの霊の感覚に注意を払う**必要があります。それは、その霊を悲しませず、その霊を消さないためです——マラキ 2:15-16. エペソ 4:30. Ⅰテサロニケ 5:19。
 - b. わたしたちは、霊であり命である神の言葉にわたしたちの思いを付けることによって、**思いを霊に付ける**ことができます——ヨハネ 6:63. イザヤ 55:8-11。
 - c. わたしたちの**思いを霊に付ける**こと、その霊の事柄を思うことはまた、主と一になって、キリスト・イエスの心の深みの中で、召会とすべての聖徒を顧みることです——ピリピ 2:21. 1:8。

***体の行ないを死に渡す**

3. わたしたちは、その霊によって体の行ないを死に渡すことができます——ローマ 8:13. ゼカリヤ 4:6. ガラテヤ 5:16 :
 - a. わたしたちはその霊に、わたしたちの内側の存在に居住し定住していただかなければなりません——ローマ 8:9, 11。
 - b. わたしたちは召会生活にとどまる必要があります。そこでは平安の神が、サタンをわたしたちの足の下に踏み砕きます——16:20. 12:1-2, 11。

神の子たちとして、命の霊の法則に協力する

***その霊によって導かれる**

4. わたしたちは神の子たちとして、その霊によって導かれることができます——8:14 :
 - a. その霊によって導かれるとは、内なる油塗り、すなわち、内住する複合の霊の行動と働きに注意を払うことです——Ⅰヨハネ 2:20, 27。
 - b. その霊によって導かれるとは、わたしたちの霊の中の安息を顧慮し、キリストの凱進行進の中の捕虜として導かれることです——Ⅱコリント 2:12-14. 7:5-6。

***子たる身分の霊の中で御父に叫ぶ**

5. わたしたちは子たる身分の霊の中で御父に叫ぶことができます——ローマ 8:15. ガラテヤ 4:6 :
 - a. わたしたちが「アバ、父よ！」と叫ぶ時（ローマ 8:15）、「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを、証ししてくださいます」（16節）。
 - b. 「アバ、父よ！」と叫ぶことは、わたしたちとわたしたちの神との親密な関係の甘さを表現します——参照、マタイ 18:3。

***完全な子たる身分のためにとりなす霊の中でうめく**

6. わたしたちは、とりなす霊の中で、完全な子たる身分、すなわち、わたしたちの体の贖いのために、うめくことができます——ローマ 8:23, 26-27 :
- わたしたちがうめく中で、その霊もうめき、わたしたちのためにとりなします。
 - とりなす霊は、わたしたちが神の長子であるキリストのかたちに同形化されるようにと、わたしたちのために祈っています——28-29 節。

朝ごとの食物 P71 より

*スイッチを入れることで、ローマ第8章にある 7 つの項目

わたしたちは霊にしたがって歩き、その霊の事柄を思い、死ぬべき体の行ないを死に渡し、導かれ、叫び、証しし、最後うめかなければなりません。……もしあなたがだれかの迷惑になることが心配ならば、ドアと窓を閉めて、部屋の中で叫んだり、うめいたりするを行なうといいでしょう。そうすれば、あなたは何がスイッチであり、どのようにスイッチを入れるのかを経験することができます。

キリストを、わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方として経験し、享受し、表現する

- II. わたしたちはキリストを、わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方として経験し、享受し、表現することができます——ローマ 8:37 :

A-D わたしたちを愛してくださったキリストを通して、わたしたちは勝ち得て余りがあることができる

***A わたしたちは神を愛し、そしてキリストの愛に押し迫られています、**

- A. わたしたちは神を愛し、キリストの愛によって押し迫られ、拘束され、動機づけられ、強いられ、かき立てられ、推進されて、すべての事柄において勝ち得て余りがあることができます——31-39 節 :
- わたしたちは神を愛することによって、神の中にあるすべての豊富にあずかります—— I コリント 2:9-10. 参照、II テモテ 3:2-4.
 - わたしたちはキリストの愛によって押し迫られ、わたしたちの愛であるキリストをもって、神と聖徒たちを愛する必要があります—— II コリント 5:14.

***B-D, わたしたちを愛してくださったキリストを通して**

- B. 「もし神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵対し得るでしょうか？」——ローマ 8:31. エレミヤ 31:31-34. ヘブル 8:8-10 :
- 「わたしは永遠の契約を彼らと結んで、彼らから離れず、彼らに幸いなことを行なう。また彼らの心の中にわたしに対する畏れを置いて、彼らがわたしから離れ去らないようにする。わたしは彼らを喜び、彼らに幸いなことを行ない、真実をもって、わたしの心を尽くし、わたしの魂を尽くして、彼らをこの地に植える」——エレミヤ 32:40-41.
 - この永遠の契約は新しい契約です。この契約によって、神はわたしたちから離れず、わたしたちの良き地であるキリストの中にわたしたちを植え、キリストのすべての面はわたしたちによって買われます。すなわち、わたしたちが代価を払って後ろにあるものを忘れ、キリストを追い求めることを通して、わたしたちによって獲得されます——40-44 節. ピリピ 3:8-14.

C. 神はキリストと共に、万物を無代価でわたしたちに賜わります。あらゆるもの、あらゆる人、あらゆる状況は、彼を愛するわたしたちのものであって、わたしたちを成就するためです——ローマ 8:28, 32. I コリント 3:21-22。

D. キリストは、わたしたちのために死に、そして復活させられた後、神の右で、わたしたちのためにとりなしています——ローマ 8:34 :

1. 34 節において、キリストは神の右にいますが、10 節において、キリストは今、わたしたちの中に、わたしたちの霊の中にいます——II テモテ 4:22. 参照、ヨハネ 1:51. 創 28:11-22。

2. ローマ第 8 章 34 節では、キリストがわたしたちのためにとりなしていますが、26 節では、その霊がわたしたちのためにとりなしています :

c. これは二人のとりなす方ではなく、ひとり、すなわち主なる霊です——II コリント 3:18。

d. 彼は両端で、わたしたちのためにとりなしています。おそらく一つの端では、わたしたちの中のその霊が、わたしたちのためのとりなしに着手します。おそらくもう一つの端では、神の右におられる主なるキリストが、わたしたちのためのそのとりなしを完成します。それはおもに、わたしたちが彼のかたちに同形化され、彼の栄光の中へともたらされるためであるに違いありません。

*どのような苦難もわたしたちをキリストの愛から引き離すことはできません

E. どのような苦難も、患難、苦悩、迫害、飢え、裸、危険、剣を含めて、わたしたちをキリストの愛から引き離すことはありません——ローマ 8:35。

*すべての苦難において、(わたしたちを愛してくださったキリストを通して)わたしたちは勝ち得て余りがあります

F. すべての苦難において、わたしたちを愛してくださったキリストを通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります——37 節:

1. わたしたちに対する神の不変の愛と、キリストがわたしたちのためにすべてを成就されたという事実のゆえに、患難も迫害も、わたしたちを圧迫することはできず、わたしたちを打ち破ることはできません。むしろ、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります。

2. 神の愛が神の永遠の救いの源です。この愛はキリストの中にあり、聖霊を通して、わたしたちの心の中に注がれています。何ものも、わたしたちをこの愛から引き離すことはできません——ローマ 8:38-39. 5:5. エレミヤ 31:3。

3. 神の救いにおける神の愛は、キリストの愛となりました。この愛は、神の全体的な救いがわたしたちの中で完成されるまで、キリストの恵みを通して、わたしたちのために多くの驚くべき事をします——ローマ 8:35. ホセア 11:4。

4. これらの驚くべき事は、神の敵があらゆる災いを用いてわたしたちを攻撃することを引き起こします。しかし、これらの攻撃は、キリストにある神の愛に対するわたしたちの応答のゆえに、わたしたちの益となります。ですから、わたしたちはあらゆる患難や災いの中で、勝ち得て余りがあるのです——ローマ 8:35-37, 28。